

# 「確かな言葉の力」を身に付ける学びづくり ～3つのシートを活用した国語科のカリキュラム・マネジメント～

神奈川県 横浜市立並木中央小学校

## 基本データ

所在地	横浜市金沢区並木 1-25-1
児童生徒数	306人
教職員数	21人
蔵書数	約8,600冊
年間貸出冊数	3,818冊

## テーマ・活動のねらい等

【テーマ】読書啓発・指導

【活動のねらい】

- 学校教育目標のひとつとして掲げている「豊かなコミュニケーション能力」の育成は、確かな言葉の獲得と活用が図られる姿であると考えている。
- 子どもたちが、主体的、対話的に取り組む深い学びづくりへのチャレンジは、国語科の指導方法にとどまらず、生きて働く力としての学びづくりでもあり、そうした取組が学校全体の目指す方向性であることで、組織的に言葉を駆使する子どもたちの育成につながるものと考えている。

## 取組・活動の概要

- 再編統合以来14年間、学校教育目標の具現化に迫るために、「確かな言葉の育成」を視点に、学校図書館の利活用を視野に入れた教育課程の創造に努めてきた。
- コミュニケーション能力や読書活動を支える基盤としての言語の力を獲得し、その活用が図られる姿が日常的に見られるよう、国語科を切り口とした単元開発、カリキュラム・マネジメントを重ねている。
- 年間一人2回の授業実践（研究授業）を行い、学校図書館の利活用を含めて、指導事項・言語活動・教材の三者の整合性のある国語科の授業改善への取り組みが、本校の特色・強みとして浸透してきていると思われる。

## 取組・活動の工夫や特徴

- 多岐に渡る研究方法のうち、授業づくりの生命線としてとらえ、改良を重ねながら実践の質を高めていくために活用しているのが、授業づくりを支える以下の3つのシートである。

### (1) GSシート（単元プラン凝縮シート）

- どのような指導事項（身に付けたい資質・能力）を、どのような言語活動や教材を通して身に付けていくか構想を検討する素案となる計画書。

～3年 読むこと「もうすぐ雨に」の場合～

GSシートの例

### (2) BSシート（教材分析シート）

- 教材文にとどまらず、並行読書材となる図書資料・言語活動の特徴や既習の読書経験や学習の場の設定、掲示物等も教材と捉え、「教材」を言語活動という視点を通して分析整理していく分析書。
- 学習計画や学習評価についての視点も組み入れ、子どもたちが主体的、対話的に課題解決を行うプロセスを明らかにしていくためのものである。

### 第2学年1組 教材分析シート【BS】

この単元を通して育成を目指す資質・能力 ▶ ○自分なりの表現方法を考える力。

教科	学習領域	学習領域ごとの身に付けたい資質・能力	学習目標
国語	表現	身に付けたい資質・能力	学習目標

○ 自分の伝えたいことが伝わるように、事例の順序に沿って簡単な構成を考えたうえで、様子や動きを表すのにかわいらしい言葉を用いて、つながりのある文章を書く力。

【しかけカードの作り方】を読んで、作る順序に沿って説明すること。  
 ・写真を使うと分かりやすいこと  
 ・つなぎ言葉があること  
 ・いろいろな言葉を使っているから説明が分かりやすいこと

書いてある通りにやったら上手にできて、5年生が喜んでくれたよ。

【説明する文章の書き方を知る。】順序に気をつけて、様子や絵を入れる、相手に分かりやすい文章を書く。

つなぎ言葉や番号を入れておくと順序が分かりやすいね。  
 何度もやってみて、分かったポイントを書くといいね。  
 写真や絵があると分かりやすくなるね。

「絵わり」にできるような面白いことを書くとやってみようという気持ちになるね。  
 様子や絵を入れると分かりやすくなるね。

1 実際にやりながらやり方の順序を考えて、やり方カードを書く。  
 2 やり方カードをさらに詳しくする。

①かわをわく  
 ②みをおける  
 ③かわをわく  
 ④たわをとる

どのおのことが分からない。  
 どうやってわいた方がいいか分からない。

この順序で正しくできかな。  
 どんな言葉で書いたら、伝わるかな？

「学校生活おたすけブック」を読み合う。  
 1年生が「できた」と喜んでくれたらいいな。  
 様子が分かる言葉が書いてあったから間違えずにできたよ。

評価

© 2018 横浜市立並木中央小学校

相手に分かりやすいように、順序立てて伝える力。

### 学習活動 ▶ ア 身近な事物を説明する文章を書く活動 【学校生活おたすけブック】

進んで分析した教材の構成

何か説明書を書いてみたい。

遠足のときに自家が上手にたためない1年生が書いたので、教えてあげたい。

1年生が困っていることを教えてあげたい。

【学習課題】  
 「学校生活おたすけブック」を作って、自分のつたえたいことを1年生に分かりやすくせつめいしよう。

【分りやすく説明する文章を書くには】

- つなぎ言葉を入れる（「まず」、「次に」、または、「①」、「②」など）
- 番号順に気をつける。
- 写真や絵を入れる。
- 絵や写真を使った経験から分かることや気をつけることなどを書く。
- 詳しく説明する言葉を入れる。
- 文末表現に気をつけて書く。

【ことばのたからばこ】

- ギョウと入れる
- まっくら
- 反響の〜
- びつたり合わせる
- しつかりとめる
- 揃くしぼる
- ひっくり返す
- 引き出す など

①かわをわく  
 ・黄色いかわをわく  
 ・みをおける  
 ・みをおけるつたえたい  
 ・おたすけブックをいれる

様子が分かる言葉もつたえたいね。  
 絵や写真があると分かりやすいね。

【ことばのたからばこ】

これなら1年生にも分かりやすいかな。

1年生に感想をもらう。

- おたすけブックを見てやったら、できるようになったよ。
- 迷わずにできたよ。

単元の振り返り

- 1年生に分かりやすいように順序に気をつけて書くことができたか。
- やり方が難しく分かるように、言葉を考えて選び、1年生にとって分かりやすい文を書くことができたか。

評価

BS シートの例

### (3) CS シート (カリマネシート)

- 国語科で身に付けたい資質・能力をベースとした年間指導計画
- それぞれの単元で身に付けたい資質・能力のつながりを視覚化
- 国語科で身に付けたい資質・能力が、系統的・段階的かつ、螺旋的・反復的に整理
- 教育課程全体を通して、教科横断的に育成を目指す資質・能力と国語科で身に付けたい資質・能力とのつながりを俯瞰
- 読書指導や情報活用能力の育成に寄与する学校図書館の利活用を視野に入れた学習指導計画

CS シートの例

### 取組・活動の成果や今後の展望

- 14年間の取組により、子どもたちの育ちの姿として言葉を獲得し、活用していく姿が定着してきている。
- 国語科に閉じた場面での姿ではなく、他教科の学習や生活のなかでの「話す力・聴く力」「読む力・書く力」という姿となってきていることは、学習状況調査等の学習意識・生活意識調査からも子どもたちに実感されてきている。
- 次年度以降も継続予定である。